

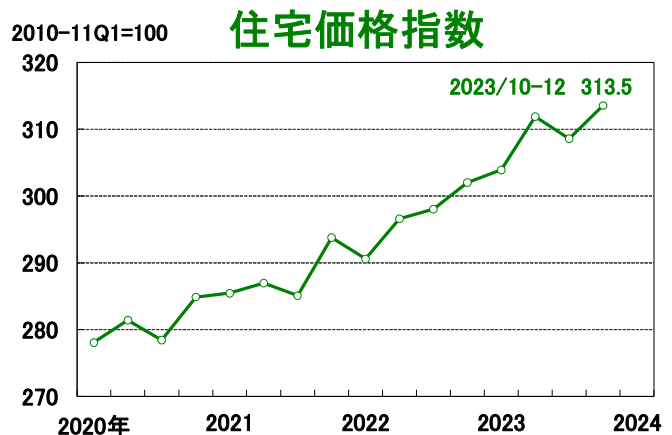
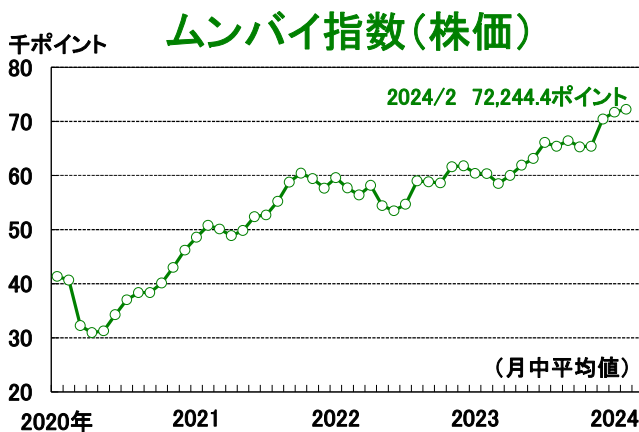
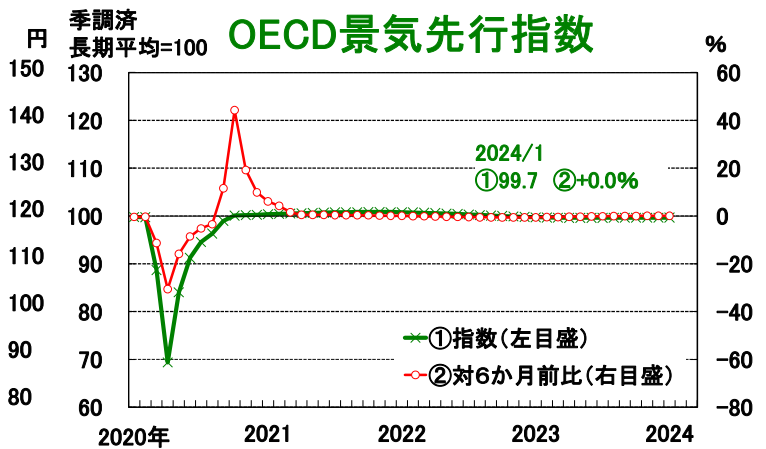
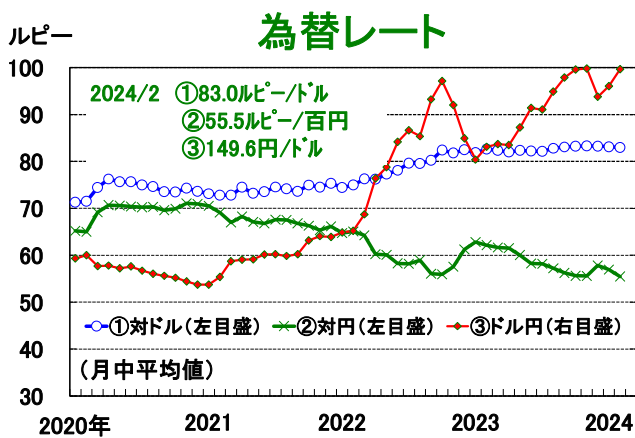
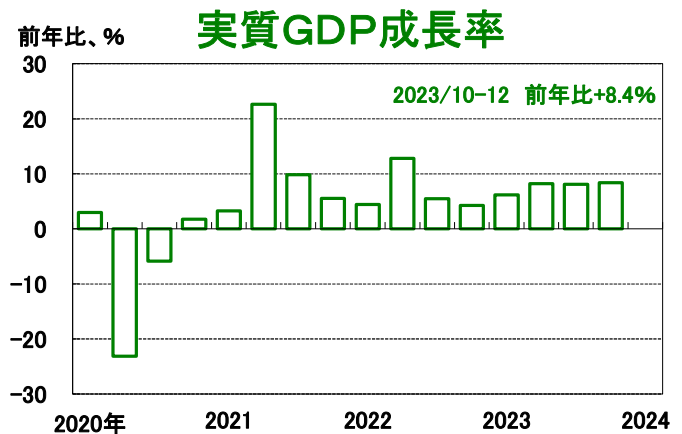
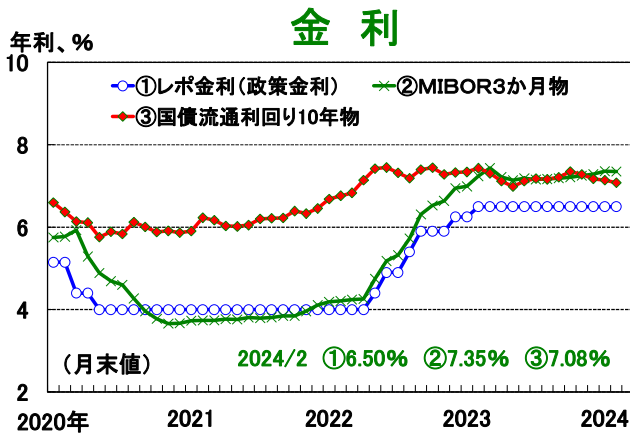
グラフで見るインド経済 2024年3月号(No. 171)

2023年10～12月期のインドの実質GDP(国内総生産)は前年比+8.4%と前期の伸び(同+8.1%)を上回った。直近の月次指標をみると、米国向けの増加などから2024年1月の輸出は前年比+3.1%と2か月連続で前年水準を上回った。家計部門に関しても、同月の新車販売台数(当社試算の季節調整値)が前月比+14.7%と大幅に増加するなど、個人消費に底入れの動きが表れた。こうした中、2月の製造業PMIは56.9と5か月ぶりの高水準となった。生産と新規受注の増加などにより、企業の景況感が持ち直している。

【足元の景気判断】

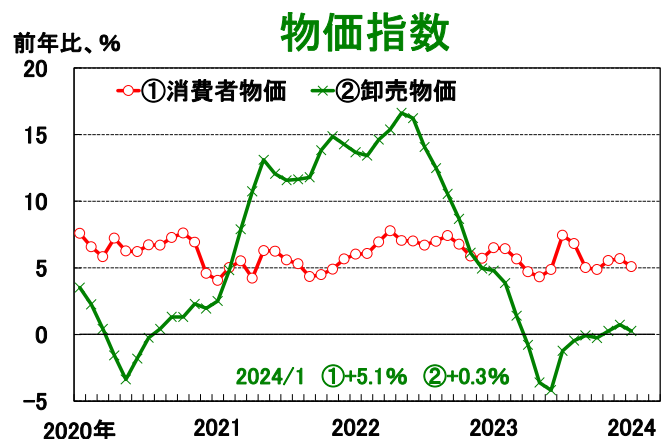
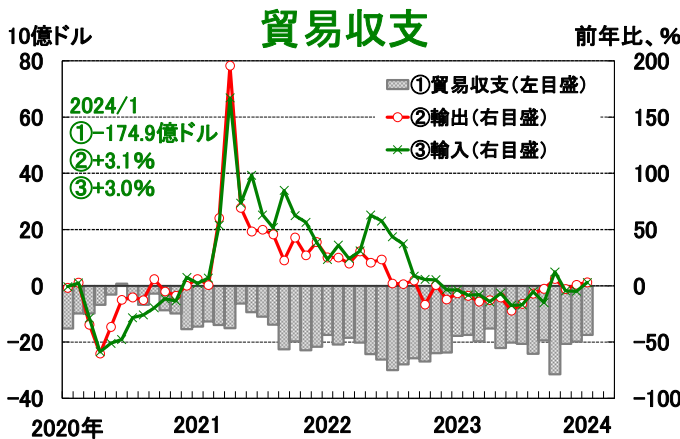
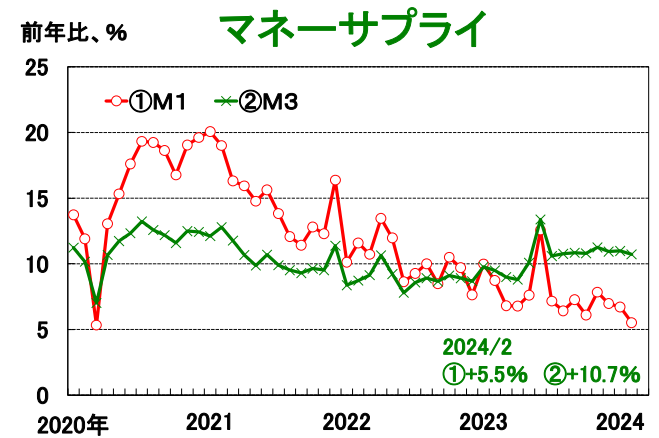
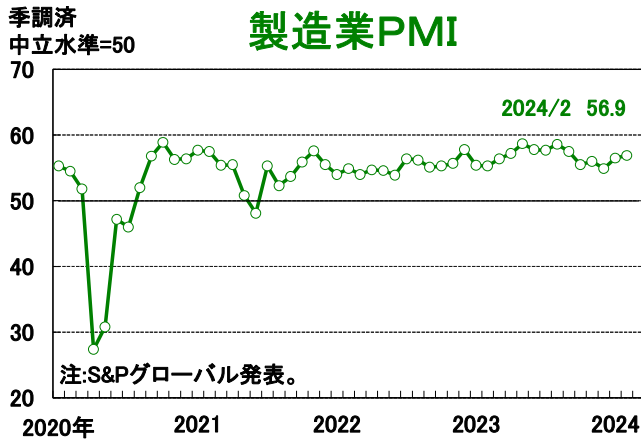
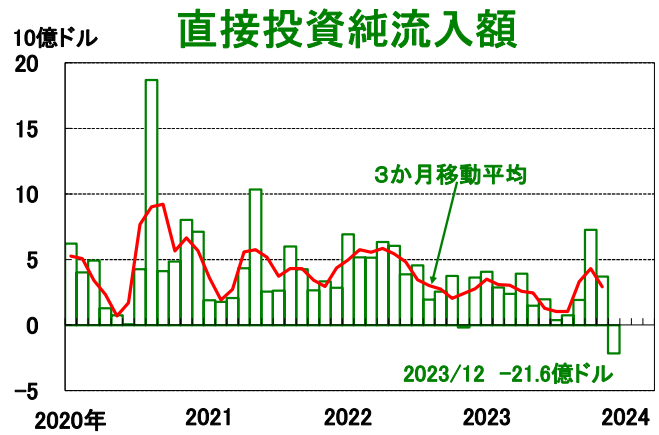
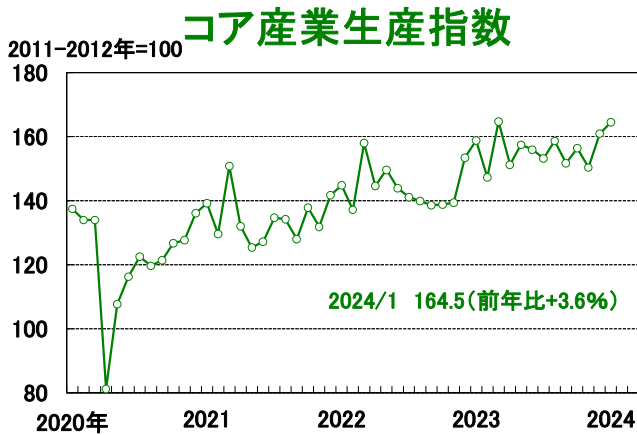
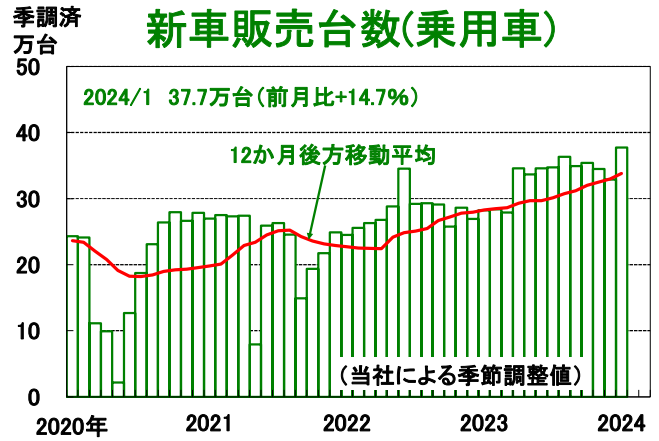
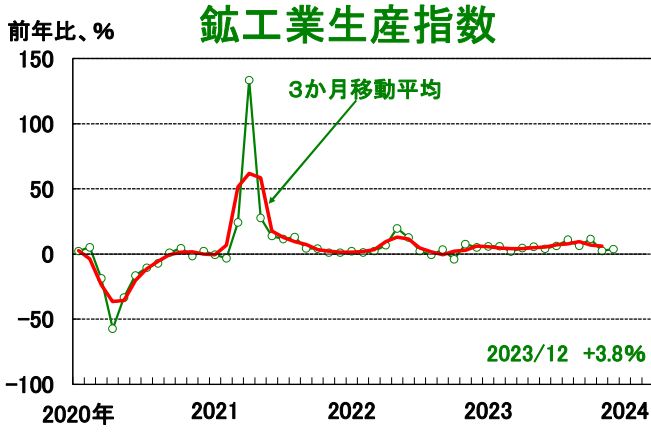
指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	→	→	→	→	↑

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。